

2025年度東地区部会研修会（電子リソースコース）コース案内

1.概要

研修コース名	スキルアップ研修（電子リソースコース）
日程（回数）	2025年6月、7月、9月、10月、11月（計5回）※別途報告大会あり（項3参照のこと）
曜日・時間	毎月第2火曜日 14:00-16:00 第1回：2025年6月10日（火）14:00-16:00 第2回：2025年7月8日（火）14:00-16:00 第3回：2025年9月9日（火）14:00-16:00 第4回：2025年10月14日（火）14:00-16:00 第5回：2025年11月11日（火）14:00-16:00
実施形態	オンライン（ZOOMミーティング） 講義（約100分）／回によりグループワーク（20分程度） 研修時以外の学修：事前資料確認（30分程度）、課題がある場合（30分程度）
募集定員	25名（先着順・最少催行人数：5名）
担当者	吉野知義（神田外語大学、大学図書館支援機構）

2.詳細

内容	データベース、電子ジャーナル、電子書籍といった電子リソースに特有の事柄や課題を対象として取り上げます。特に、それぞれの成り立ち、資料・契約管理、技術的側面、利用促進や学内応などについて、基礎的なことから活用について解説していきます。 第1回：電子リソースの種類と成り立ち ● 電子リソースの成り立ち ● 電子リソース運用に必要なスキル 第2回：電子リソースの流通とビジネス ● 学術情報流通の中での電子リソース ● Open Access化の経緯と今後 第3回：電子リソースの課題と活用 ● 価格高騰への考え方について ● 学内での利用促進について 第4回：電子リソースの管理 ● 契約の種類と形態について ● 利用統計（COUNTERなど）の理解と活用 ● ERMS（電子リソース管理システム）の展開 第5回：電子リソースに関わる技術 ● アクセスするための技術（認証など） ● 資料や個人を特定する技術
到達目標	大学図書館で提供する資料の大きな部分を占めるようになった電子リソースについて、種類や特徴、現在までの成り立ち、紙の資料とは異なる技術的な側面、利用促進や効率的な管理方法、価格高騰への対策などを全体的に理解し、各図書館での導入や運用に役立てるようになることを目指します。

3.研修報告大会

目的	研修内容に関する情報共有
内容	研修コース講師による研修内容の報告 受講者（代表者複数名）から自身の学びについての所感報告
報告形式	オンライン、オンデマンド動画配信
日程	本番：2025年12月12日(金) 【受講者全員参加】 リハーサル（接続確認等）：2025年12月5日(金) 【講師・所感報告者参加】

4.受講条件

資格・経験	● 電子リソース業務を担当している方 ● 電子リソースに関する知識が必要と感じている方
環境	インターネットに接続でき、Zoomミーティングでカメラ・マイクが使用できる環境
その他	全5回出席を基本としますが、やむを得ない事情で欠席した人には、当日の資料と録画を提供します。